

## Web調べ学習における問題点の検証\*

磯本 光広\*\*

### Verification of Problem in Web-based Investigative Learning

Mitsuhiro ISOMOTO\*\*

**要約** Webを活用して調べ学習をおこなうには、検索ワードの選び方が重要であることを、新井紀子の発言をもとに検索ワードの数、内容、検索結果からの選別など多岐にわたって検証した。それを丁寧に分析した結果、多くの事柄を修得して実施すべきであり、Web検索による表示順には恣意性を含んでいる蓋然性が高いため注意を要することがわかった。Web検索も安易におこなうと不幸な結果を招きかねない。きちんと準備や理解をしたうえで実践すべきである。

**キーワード**：Web調べ学習、課題作成能力、検索技術、あいまい検索、表示順

#### 1. 問題提起

文部科学省ウェブサイト「学習指導要領の見直しに当たっての検討課題」のなかに「社会科で諸外国について調べるのは、小学校6年生の3学期で、都道府県の学習についても、例えば九州と北海道の風土の違いを学習する時間が少なく、総合的な学習の時間に調べ学習をおこなおうとしても、基本的な知識が十分でない状況である<sup>1</sup>」などと調べ学習の問題点について記載されている例もある。しかし、多くの学習局面において調べ学習は安易に実践されている。

新井は「AIが検索を支援してくれれば問題解決はできる」という結果を求めてテストを実施した。しかし思い通りの結果を得られなかったためにRST<sup>2</sup> (Reading Skill Test: リーディングスキルテスト) をしなければならないと考え始めたそうである。それはある県のいわゆる進学高校において「平安時代の貴族社会では、女性の地位も重要だった理由を、当時の家族習慣および政治の構造から50字以内で述べよ」という問いを教科書とかウィキペディアを検索できる状態で実施された。IBMのワトソン<sup>3</sup>なら「平安時代 女性 地位」と適切にキーワード検索して重みもつけるのに、高校生は単語ひとつで検索をしようとした結果、検索できない生徒が多くいたことで愕然としたとのことである<sup>4</sup>。

多くの学習場面等で利用されている調べ学習であるが、Web調べ学習に焦点をあてて、問いにた

いする検索ワードの立て方、検索後のウェブサイトの利用の仕方、Webサイトの表示順にいたるまで様々な視点から考察してみたい。

#### 2. 読解力と検索能力

##### 2-1. 新井の検索結果の追検査

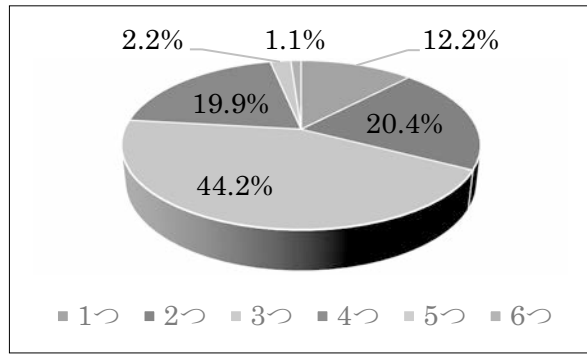
実際に論文筆者も授業で20分間の時間を取って新井の問いを検証した。教科書は利用できる状態ではない点、ならびに50字から100字程度で解答しなさい、と指示を出したことが、新井の検査と異なっている点である。実施方法は、学生の理解を段階的に把握するために、まず、①問題文から検索ワードを作成させ、記載させる。②つぎに検索で出てきたウェブサイトのいくつか(制限なし)を数分の時間を取って流し読みさせる。③そしてその中から自分の解答を導くに足るウェブサイトを選択させ、ウェブサイトのタイトル、URLを記載させる。④そして最後にそのウェブサイトを見ながら問題に解答をさせるという流れで実施した。

被験者181名のうち、検索ワードが1つだった学生は22名(12.7%)と比較的少ない印象であり、新井の検査とは異なる結果となった(図表1)。新井の検査は、被験者が高校生なのにたいして、論文筆者のものは大学生であるという差異がある。いまではググる(googleで検索する)ということばも市民権を得てきたうえ、大学生のほうが検索に慣れているからかもしれない。

\* Received December 1, 2019

\*\* 長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部 経済政策学科, Department of Economic Policy, Faculty of Contemporary Social Studies, Nagasaki Wesleyan University, 1212-1 Nishieida, Isahaya, Nagasaki 854-0082, Japan

図表1 検索時に利用した検索ワードの数



(出典) アンケート結果をもとに論文筆者作成。

一方で、新井の言葉と同様に「平安時代、女性、地位」という検索ワードをもちいた学生は34名(18.9%)と少なかった。類似のものには「平安時代、女性の地位、貴族社会」20名(11.1%)や「平安時代、女性、地位、貴族社会」13名(7.2%)などがある。

検索ワードは3つ程度をもちいるのが一般的だと思われるが、そこから大きく外れている学生もいるのでそれについて検証してみる。検索ワードが1つだった学生が22名いる。その内容は、「平安時代の貴族社会」4名、「貴族社会の女性の地位」3名、「平安時代の女性の地位の重要性」、「平安時代の貴族社会における女性の地位の重要性」、「平安時代で女性の地位も重要だった理由」、「平安時代の貴族社会における女性の地位」各2名、「女性の地位」、「平安時代の貴族の女性の地位と政治」、「日本貴族の女性の地位」、「貴族社会」、「平安時代」、「平安貴族の生活」、「平安時代の女性の地位」各1名であった。多くの学生が長文の検索ワードをもちいているのが特徴的である。

## 2-2. 検索ワードの内容

つぎに個々の検索ワードについて詳細に分析してみる。もっとも多かったのは「平安時代」(「平安」も含む)139名である、続いて「女性の地位」(「女性地位」も含む)72名、「女性」59名、「地位」24名、「貴族社会」(「貴族」も含む)56名、重要(「重要性」「なぜ重要」も含む)29名、家族習慣(「当時の家族習慣」も含む)12名、「政治の構造」(「政治構造」も含む)7名となる。

つぎに検索ワードの一部に「平安」を含みながら「平安時代」または「平安」以外の検索ワードをもちいた学生についてまとめてみる。「平安時代の貴族社会」15名、「平安貴族」7名、「平安時

代の女性の地位」4名、「平安時代の貴族社会の女性地位」3名、「平安時代の女性の地位の重要性」2名、「平安時代の女性の地位と政治」「平安時代の貴族社会で女性の地位が重要だった理由」「平安時代で女性の地位も重要だった理由」「平安貴族の生活」「平安時代の貴族社会では女性の地位とは」「平安時代の女性の地位の重要性」各1名となった。

一方で、検索ワードに「平安」をまったく含まなかった学生は5名(2.8%)いたが、その検索ワードは、「日本史、女性、社会地位」、「日本貴族の女性の地位」、「貴族社会の女性地位」、「貴族社会」、「女性の地位」であった。5名のうち4名(80%)において検索ワードが1つというのも暗示的なものがありそうである。

逆に「平安時代の貴族社会」「平安時代の女性の地位」「平安時代の家族像」とすべての検索ワードに「平安時代」を付けた学生も1名いた。また「平安時代」「女性」「地位」「貴族社会」「重要」「なぜ」と文章中の目についた名詞をすべて記載したのかと思わせる学生もいた。

## 2-3. 調べたウェブサイトについて

前述の検索ワードをもちいて、どのようなウェブサイト調べ、どのように解答したのかについて検証する。

調べたウェブサイトのうち選択した学生数の多かった順に示すと、つぎようになる。

1) シャジニナ・ハンナ「日本女性の社会地位に関する歴史的研究<sup>5)</sup>」総文字数:12,089。選んだ学生の数58名。

論文の体裁を保持しているが、「日本語・日本文化研修プログラム研修レポート集」に収録してある留学生のレポートである。

解答例1「家族は女性中心で、生活は女性の家でおこない、男性は夜に通って朝に帰り、昼は男女ともにそれぞれの家で働いた。子供の養育、娘の結婚、宗教上の地位などから母系社会ということもあり女性の地位は高かった」94文字。

解答例2「家は女性が受け継ぐと考えられており、宗教の面でも巫女は神の声を聞くことができるとして高く評価を受けたから」52文字。

解答例3「巫女は神の声を聞くことができ、また人間の希望を神に伝える重要な仕事であり、地位も高かった。女性が社会的な活動をする社会で、女性の地位は重要だった」72文字。

解答例4「家は女性が継ぐ風習があり、男性が

女性の家に住む構造だったため、女性の地位が重要だったから」44文字。

解答例5「平安時代の貴族は、自分の家系を継いでもらう必要があったため、地位の高い女性を求めた」41文字。

標準解答例「分業により、男性が外での仕事、女性が家事、子供の養育とかいう家庭の仕事を分業していた」42文字。

2) 服藤早苗「権力を発揮していた平安の女性たち一性差を超えた、歴史の見方とは<sup>6)</sup>」、総文字数：2,989。選んだ学生の数：51名。

大学教授の執筆したものである。

解答例1「摂関政治の全盛期、天皇の母親である『国母』は政治の表舞台には出ない代わりに、父や兄弟を摂関として代行させていた。つまり裏でかなりの権力を持って国をコントロールしていたから」85文字。

解答例2「この頃の貴族の家はいまでいう会社みたいなもの。女性は政治の立場である朝廷ではなく、家という会社を支える副社長や専務として腕を振るっていたから」65文字。

解答例3「家という概念が生まれた平安時代において、夫は『朝廷』で働き、女性は『家』をささえることとなったから」49文字。

3)「平安時代の女性は、どんな生活を送っていたの!?<sup>7)</sup>」、総文字数：3,016。選んだ学生の数：25名。

歴史の人物、城、戦、ミステリーをわかりやすく説明してあるサイトである。

解答例1「平安時代の貴族社会では、一夫多妻であるが本妻は一人しか持てない。そして官位が高く権力を持った家柄の女性と結婚すれば地位を得られるために女性の地位は重要である」78文字。

解答例2「一夫多妻の世だが、正妻は一人だけしか許されておらず、正妻として選ばれるには、家柄や知性が重視だった」49文字。

解答例3「平安時代は一夫多妻の世でした。多くの女性を養うことができることこそが、当時の社会ではステータスとなっていたから」55文字。

4) 平安時代Campusウェブサイト「平安時代の貴族たちはどのような暮らしをしていたのか?」<sup>8)</sup> 総文字数：1,552。選んだ学生の数：4名。

目次を持ち、多くの項目に分かれ、平安時代の内容を網羅して説明している。

解答例1「一夫多妻制で、正妻は一人のみでした。家柄や知性が重視され、天皇家に近かったり官位が高かったりする家柄の女性は、正妻として迎えられてそれなりの地位を得た」75文字。

解答例2「一夫多妻制で、通い婚でした。正妻は一人のみでそれ以外は「めかけ」でした。家柄や知性が重視され、天皇家に近かったり官位が高くて権力を持っていたりする家柄の女性は、正妻として迎えられてそれなりの地位を得た」100文字。

5) ④BUSHOOO!JAPANウェブサイト「平安時代の女官って? 尚侍・典侍・掌侍や女孺・女蔵人などを解説<sup>9)</sup>」 総文字数：3,298。選んだ学生の数：4名。

日本初の戦国ポータルサイトであるが、このページでは尚侍、典侍、掌侍、女孺、女蔵人など平安時代の女官についての説明をおこなっている。

解答例1「女官とは『女性の官僚』のことで、江戸という大奥みたいなものである。身分の高い人に仕えていた女性使用人を女房と呼んだ」57文字。

解答例2「基本的に天皇の事務を補助したり、祭事に携わったりする女性もいるので地位は高い」38文字。

6) 終活ねっとウェブサイト「平安時代の女性はどんな生活をしていた? お風呂には入らない?!<sup>10)</sup>」 総文字数：2,147。選んだ学生の数：3名。

株式会社終活ねっとが教養講座的に平安時代について解説しているサイトである。

解答例1「女性は、蝶よ花よと育てられ、自由に動くことができなかった。平安時代は一夫多妻制であり、男たちの嫉妬が渦巻くほど女性を求めていたから」45文字。

解答例2「一夫多妻制であり、正妻以外は妾と呼ばれた。正妻になるには家柄、知性といった要素が重視されたから」47文字。

標準解答例「一夫多妻制であり、正妻と妾が存在し、正妻は邸内に住むことが許され、妾は通い婚で結婚していたから」47文字。

7) 向井啓二「～古代の女性史(2)～—平安時代の女性たち<sup>11)</sup>」 morikado ネットウェブサイト、総文字数：2,488。選んだ学生の数：2名。

守口市・門真市を中心に、京阪沿線に縁のあるお店・会社、イベント、人々の投稿などを集めたサイトである。向井啓二が執筆していることも明

記してある。

解答例1「貴族の婚姻は、妻問い婚、つまり、家は母から娘（とその夫）さらに孫娘へと受け継がれていくことになっていました。同居する場所は妻の家ですから、女性の地位が高いことには変わりはありません。ですから財産は妻と娘に譲られるのです」108文字。

解答例2「妻問い婚であり、娘から孫娘へと受け継がれていく。同居する場所は妻の家で、財産は妻と娘に譲られるのだから、女性の地位は高い」62文字。

8) Exciteニュースウェブサイト、「日本では女性の地位が低いって？『レディースデー』や『女性専用車両』があるのに……＝中国<sup>12)</sup>」、総文字数：991。選んだ学生の数：1名。

サーチナに掲載されたニュースを再掲したものであり、男性が不便や不利益を被っているケースが多いことを紹介し、海外のイメージがどうであれ、日本は女性にとって過ごしやすい社会であると結論付けている。

解答例「女性専用フロア、男女兼用トイレ、メンズデー、電車の男性専用車両など、日本において男性差別は多く存在する。したがって男女差別はいまでも存在する」69文字。

9) honciergeウェブサイト「5分でわかる平安時代！政治や文化の特徴は？主な人物もわかりやすく解説！<sup>13)</sup>」総文字数：1,958。選んだ学生の数：1名。

平安時代の政治、文化、主な人物を簡単に説明したサイトである。

解答例1「庶民が暮らしている住居は竪穴式住居であり、貴族との生活に差があったから」38文字。

解答例2「多くの貴族は白米や魚を食べ、寝殿造りという立派な屋敷に住んでいた。一方、庶民はヒエやアワ、雑草などを食べ、竪穴式住居に住んでいた。貴族との生活に差があった」77文字。

10) 学研キッズネットウェブサイト「平安時代の貴族は、どんな暮らしをしていたの<sup>14)</sup>」総文字数：2,498。選んだ学生の数：1名。

平安時代の貴族の暮らしについて平易な文章で書かれたサイトである。

解答例「貴族社会で生きていくには男性も女性もいろいろな教養を身に付けておくことが必要

だった。遊びや宴会で集まるとき、和歌や楽器、演奏、舞いを披露しあっていたため、紫式部や清少納言のような才女が現れた」95文字。

論文等に引用できそうなウェブサイトを利用した学生は計150名（82.9%）であった。つぎに、それ以外の31名について説明する。

11) Yahoo! 知恵袋ウェブサイト「平安時代、女性の地位はどのようなものであったのでしょうか？扱いはどうでしょうか？江戸時代とは違いますよね？詳しく教えてください<sup>15)</sup>」総文字数：317。選んだ学生の数：12名。

Yahoo!知恵袋ウェブサイト等の利用は解答者の知識レベルや本気度によって左右される傾向があり、当たり外れが非常に大きいため過度な信用は禁物である。解答数の多寡についても留意し、解答数が少ない場合には気を付ける必要がある。

解答例「息子→相続権なし。金持ち娘と結婚して妻に生活の面倒を見てもらい、親と妻の親に協力してもらって出世させてもらう。

娘→相続権あり。親から財産を受け継ぎ、そのお金で夫を養う。生活費は全額妻負担のため、夫に従う必要なし。嫌になったら別れる。再婚は自由。同じように新しい夫の面倒を見る」137文字。

12) Hatenaブログ「女性の地位と結婚の形『凡人は歴史に学ぶ<sup>16)</sup>』」総文字数：837。選んだ学生の数：2名。

ブログも執筆者の知識レベルに依存するため、当たり外れが大きい。そのため、過度な信用は禁物である。

解答例1「男性が女性の家を訪問するようになった理由は、大切な労働力である女性を実家から出さないという考え方である。その扱いから女性が大切な存在であることがわかるから」77文字。

解答例2「妻問い婚とは、夜になって男性が女性の家を訪問し、翌朝の暗いうちに帰るといった結婚の形だが、それを正式に認めた上での婿取り婚に変わっていった。これは、朝になると帰ってしまう男を昼間も居続けさせ、労働力として使おうという発想」109文字。

13) Biglobeウェブリブログ、山口藤造「平安時代の女性の地位は低かった<sup>17)</sup>」総文字数：7,959。選んだ学生の数：2名。

このウェブサイトの内容は今昔物語集や大和物語のなかから悲惨な女性の話を紹介している。

解答例「女性の地位は低い」 8文字。

14) Exciteブログ「日本人の家族形態の特徴である『母系家族』の由来と経過<sup>18)</sup>『コンセプト思考術オープンソース』総文字数：18,192。選んだ学生数：1名。

解答例1「命を生み出す女性である母が家長であり、成人すると男子が家を出ていき、娘が家に残って跡を継いだから」48文字。

平安時代だけでなく、内容が先史時代から延々と続くため非常に長文であり読みづらい。しかし、18,192文字を丹念に読む根気があれば以下のような解答を導き出すことも可能である。

解答例2「貴族の女が男に対する優位性（性の魅力・魅惑）を発揮してサバイバルする方策として、母系の通い婚が鍵となった」52文字。

解答例3「貴族社会の女は自分の子供を英才教育するよりも、朝廷で官職につく男を獲得してサバイバルしようとした。通い婚で結婚に至るまでの経過では、複数の婿候補の夜這いが受け入れられ、子供のほんとうの父親かどうかに関わらず、一番有望な男を娘の婿とした」117文字。

Wikipediaを利用した人が3名。最近のWikipediaは内容もよいため、必ずしも悪いとはいえない。ただ単語単体の意味を調べる場合ならいざ知らず、このような文章問題では利用が難しいと思われる。

15) Wikipediaウェブサイト「貴族<sup>19)</sup>」、総文字数：7,374。選んだ学生数：1名。

「貴族社会」を検索ワードにしたが、Wikipedia内にそのような言葉が存在しないため「貴族」しか閲覧できなかったものである。

解答例「貴族とは、特権を備えた名誉や称号を持ち、それ故に他の社会階級の人々と明確に区別された社会階層に属する集団」52文字。

16) Wikipediaウェブサイト「平安貴族<sup>20)</sup>」、総文字数：2,486。選んだ学生数：1名。

解答例「平安時代の貴族をさす概念で、平安中期、後期にかけて貴族層による政治的、社会経済的、文化的支配が展開したため、女性も同時期の貴族を表すための用語として使われることが多い」83文字。

17) Wikipediaウェブサイト「平安時代<sup>21)</sup>」、総

文字数：11,937。選んだ学生数：1名。

解答例1「平安時代とは、延暦13年(794年)から文治元年(1185年)または建久3年(1192年)頃のことであり、日本の歴史の時代区分の一つである」60文字。

11,937文字を丹念に読む根気があれば以下のような解答を導き出すことも可能である。

解答例2「枕草子や源氏物語に代表される女性貴族の時代で、摂関家の娘と天皇との婚姻で外祖父の藤原氏の女系が重視される女性の時代だった。和歌・貴族生活の日記・恋愛物語の女流貴族文学の隆盛などの国文学が繁栄して貴族文化が誕生した」106文字。

18) 解答なし、11名。

問いにたいする解答を導き出すために有用かどうかを問題にしており、ウェブサイトの優劣について論じているわけではないことを重ねて断わっておく。

#### 2-4. 解答の分類と考察

新井は簡単に解答できそうに記していたが、なかなかの難問であることがわかる。この問題は「女性の地位も重要である理由」を聞いているのであって、「女性の地位が高い理由」や「女性の地位が低い理由」などは聞いていない。

平安前期は女性の地位が高かった時代としてわたしは認識しているが、明治時代以降の印象が強いためか、女性の地位は低いはずであるとの思いこみからの解答が目につく。わたしの学生時代にはエジプトのピラミッドは奴隷が建設したと授業で習ったが、いまは労働者に収穫がない時の社会保障として王がおこなったという説が有力である<sup>22)</sup>。思い込みで解答するのは厳に慎むべきである。

学生たちの解答を分類すると以下のものになる。

A)「結婚制度が整い分業化され、女性はいまでいう会社のような「家」を支える役目を担ったから」42文字。

B)「母系社会であり、財産相続はすべて女性だったから」23文字。

C)「巫女は神の声を聞けるとして、とても高い地位だったから」26文字。

D)「摂関政治の全盛期、天皇の母親である『国母』は政治の表舞台には出ない代わりに、裏でかなりの権力を持って国をコントロールしてい

たから」64文字。

E)「男性の地位は女性の家柄によってすべて決まっていたから」26文字。

F)「貴族社会で生きていくには男性も女性もいろいろな教養を身に付けておくことが必要だった。遊びや宴会で集まるとき、和歌や楽器、演奏、舞いを披露しあっていたため、紫式部や清少納言のような才女が現れた」95文字。

G)「男性が女性の家を訪問するようになった理由は、大切な労働力である女性を実家から出さないという考え方である。その扱いから女性が大切な存在であることがわかる」75文字。

これらの解答をみると、「女性の地位も重要だった」という文言を「女性の地位は高かった」「女性には立派な人がいた」「女性は大切な存在だった」などと解釈しているかのような解答もある。これらは探すべきものを錯誤したまま検索した蓋然性が高い。

調べ学習においてまず気を付けなければならないのは、問題文をきちんと理解しているかどうかである。当然であるが、題意を取り間違えていては正答を導き出すことはできない。またウェブサイトの速読および理解が困難な学生も多かった。11人の無解答の学生のうち、正しいウェブサイトにとどりつけそうな検索ワードをもちいた学生は8人(72.7%)である。彼らにとっては図書館で調べ物をしてよいといわれてもわからない状態と同じなのかもしれない。Web調べ学習をするには多くの能力が必要なことがわかる。

「一夫多妻制であり、側室ではなく正妻になるには容姿よりも家柄や知性といった要素が重要だった」という文章は正答に近いとは思いますが、厳密に言えば正しくない。これを女性目線から男性目線の文章に変え、内容をわかりやすく改めるとつぎの文章となる。「自らの家柄が高い場合を除けば、出世の道はほとんどない。身分や家柄の高い女性を妻にめとることが生き残る唯一の道であったため(結婚相手の)女性の地位は重要であった」79文字。

### 3. 検索方法について

#### 3-1. 検索技術について

Web検索において、知っておいたほうがよいと思われる機能について紹介してみる。

#### 1) AND検索

検索をするときに「平安時代 女性」のように、スペースを空けて検索ワードを並べるとAND機能になり、検索範囲が狭まる。検索ワードを多くするとより、検索範囲を狭めることができる。

#### 2) OR検索

徳川家康か豊臣秀吉のどちらでもいいからよさそうな文献を調べたい場合には「徳川家康 OR 豊臣秀吉」のようにOR機能をもちいるとよい。

#### 3) マイナス検索

徳川家康以外の戦国武将を調べたい場合は「戦国武将-徳川家康」のようにマイナス検索をもちいるとよい<sup>23</sup>。

#### 4) 完全一致

Web検索は基本的にあいまい検索であり、ゆらぎをもっている<sup>24</sup>。そこできちんと完全一致させたい場合は「“徳川家康”」のようにダブルコーテーションで囲むとよい。

#### 5) ワイルドカード

滝川一益を検索するのに「滝川○益」としか覚えていなかった場合に、「滝川\*益」とアスタリスクをもちいてワイルドカード検索をもちいるとよい<sup>25</sup>。

### 3-2. 検索結果一覧について

実際の検索ワードを入れて検索した結果どのようなウェブサイトが出現したのかを検証してみる。「平安時代 女性 地位」をGoogle検索ならびにYahoo検索した結果が図表2であり、約4カ月経過して表示順がどのように変化したのかを調査した結果が図表3である。大きく様変わりし、3つのウェブサイト等が入れ替わっている。新しく入ってきたのが、5) 日本での男女不平等問題の歴史、現状、そして今後の展望<sup>26</sup>、7) 平安時代。日本の女性相続、女流作家、母系相続図<sup>27</sup>、9) おけいはんネット「第66回 京の女流文学<sup>28</sup>」、である。

検索結果をもちいるのであれば、表の作成等は同時期にすることが肝要であり、いつ検索したのかを明記する必要もある。

図表2 「平安時代 女性 地位」による検索結果【7月検索】

No.	タイトル	学生数	種別	検索1	検索2
1	服藤早苗「権力を発揮していた平安の女性たち——性差を超えた、歴史の見方とは——」at homeこだわりアカデミー	51	ウェブサイト	1	1
2	シャジニナ・ハンナ「日本女性の社会地位に関する歴史的研究」	58	論文	2	2
3	歴ペディアウェブサイト「平安時代の女性は、どんな生活を送っていたの!？」	25	ウェブサイト	3	3
4	平安時代Campusウェブサイト「平安時代campus：平安時代の貴族たちはどのような暮らしをしていたのか？」	4	ウェブサイト	4	5
5	BUSHOOO! JAPANウェブサイト「平安時代の女官って？尚侍・典侍・掌侍や女孺・女蔵人などを解説」	4	ウェブサイト	5	4
6	Hatenaブログ「女性の地位と結婚の形」『凡人は歴史に学ぶ』	2	ブログ	6	6
7	終活ねっとウェブサイト「平安時代の女性はどんな生活をしていました？お風呂には入らない?!」	3	ウェブサイト	7	7
8	Yahoo! 知恵袋ウェブサイト「平安時代、女性の地位はどのようなものであったのでしょうか？扱いはどうでしょうか？……」	12	知恵袋	8	8
9	morikadoネットウェブサイト「～古代の女性史（2）～—平安時代の女性たち—」『向井啓二の日本史』	2	ウェブサイト	9	9
10	Biglobeウェブリブログ「平安時代の女性の地位は低かった」	2	ブログ	10	10

(出典) 論文筆者作成、2019年7月14日検索。

(注意) 検索1とはGoogleをもちいて検索した結果である。

(注意) 検索2とはYahooをもちいて検索した結果である。

図表3 「平安時代 女性 地位」による検索結果【11月検索】

No.	タイトル	学生数	種別	検索1	検索2
1	服藤早苗「権力を発揮していた平安の女性たち——性差を超えた、歴史の見方とは——」at homeこだわりアカデミー	51	ウェブサイト	1	1
2	シャジニナ・ハンナ「日本女性の社会地位に関する歴史的研究」	58	論文	2	2
3	BUSHOOO! JAPANウェブサイト「平安時代の女官って？尚侍・典侍・掌侍や女孺・女蔵人などを解説」	4	ウェブサイト	3	4
4	morikadoネットウェブサイト「～古代の女性史（2）～—平安時代の女性たち—」『向井啓二の日本史』	2	ウェブサイト	4	5
5	日本での男女不平等問題の歴史、現状、そして今後の展望……	0	論文	5	3
6	Biglobeウェブリブログ「平安時代の女性の地位は低かった」	2	ブログ	6	6
7	1 平安時代。日本の女性相続、女流作家、母系女系図……	0	ブログ	7	7
8	終活ねっとウェブサイト「平安時代の女性はどんな生活をしていました？お風呂には入らない?!」	3	ウェブサイト	8	8
9	おけいはんねっと「第66回 京の女流文学」	0	ウェブサイト	9	10
10	Yahoo! 知恵袋ウェブサイト「平安時代、女性の地位はどのようなものであったのでしょうか？扱いはどうでしょうか？……」	12	知恵袋	10	11

(出典) 論文筆者作成、2019年11月17日検索。

(注意) 検索1とはGoogleをもちいて検索した結果である。

(注意) 検索2とはYahooをもちいて検索した結果である。

図表4 「平安時代の貴族社会では、女性の地位も重要だった理由を、当時の家族習慣および政治の構造から述べよ」による検索結果【11月検索】

No.	タイトル	学生数	種別	検索3	検索4
1	シャジニナ・ハンナ「日本女性の社会地位に関する歴史的研究」	58	論文	1	1
2	中学校社会歴史／平安時代—Wikibooks	0	ウィキブックス	2	2
3	服藤早苗「権力を発揮していた平安の女性たち——性差を超えた、歴史の見方とは——」 at homeこだわりアカデミー	51	ウェブサイト	3	3
4	Wikipediaウェブサイト「平安時代」	1	ウィキペディア	4	4
5	平安時代の貴族が日記を書いた理由とは？—Z会	0	ウェブサイト	5	5
6	「ヘンタイよいこ」新井紀子は明日への希望を忘れない	0	ウェブサイト	6	6
7	サブテキスト 奈良大学	0	ウェブサイト	7	7
8	文学科 歴史文化コース専門教育科目（3年次編入 東京聖徳学園）	0	ウェブサイト	8	8
9	「読み比べ」の一試案—山梨県総合教育センター	0	ウェブサイト	9	9
10	社会科授業のあらゆる場面へのサポートをご紹介します。—帝国書院	0	ウェブサイト	10	10

（出典）論文筆者作成、2019年11月17日検索。

（注意）検索3とはGoogleをもちいて検索した結果である。

（注意）検索4とはYahooをもちいて検索した結果である。

これだけ極端な検索ワードをもちいるとさすがに検索結果に変化がみられる。Google検索とYahoo検索によって若干の差異はあるもののほとんど表示順が同じであった。図表2において上位10位までに入っていたウェブサイト等が図表4では2つしか入っていない。代わりに入ってきたのが、2) 中学校社会歴史／平安時代<sup>29</sup>、5) 平安時代の貴族が日記を書いた理由とは？<sup>30</sup>、6) 「ヘンタイよいこ」新井紀子は明日への希望を忘れない<sup>31</sup>、7) サブテキスト奈良大学<sup>32</sup>、8) 文学科歴史文化コース専門教育科目<sup>33</sup>、9) 「読み比べ」の一試案<sup>34</sup>、10) 社会科授業のあらゆる場面へのサポートをご紹介します<sup>35</sup>、の各サイトである。

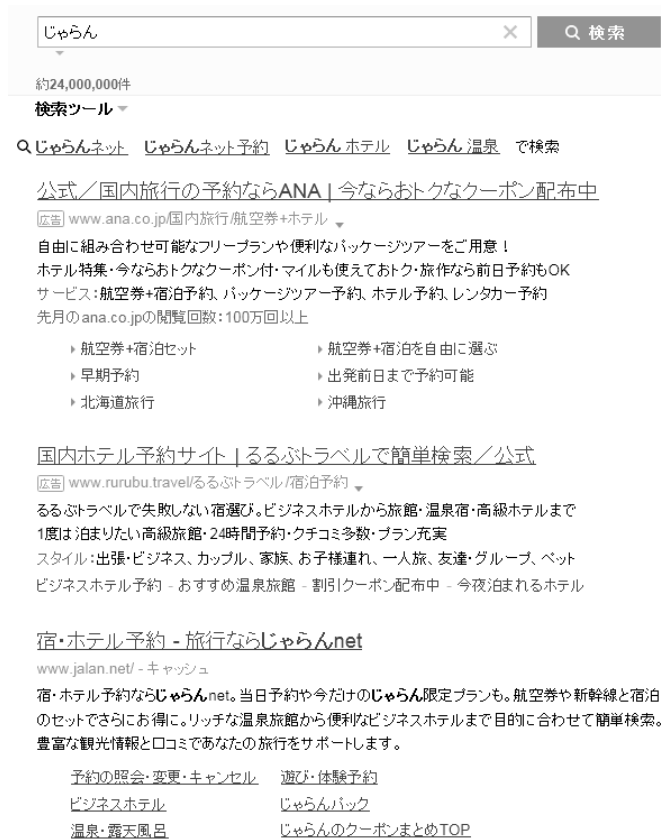
### 3-4. 表示順についての考察

ここでひとつの疑問を抱く。なぜGoogleやYahoo

等の検索エンジンによるウェブ検索はコンピュータ等での検索結果とは大きく異なっているのか。長文ワードによる検索結果の表示順で新しく出現したウェブサイトの内訳は、大学通信教育学部のシラバスが2つ、通信教育のサイトが1つ、出版社の商品カタログが1つ、教育センターの教材まとめが1つ、そしてウェブサイトがひとつである。内容の偏りにも違和感はあるが、もっとも疑問に感じるのは検索ワードとまったく同じ文章を含む新井紀子の記事が6位にしかエントリーされていないことである。完全一致で検索すれば当然ひとつしかでてこない。しかしあいまい検索とはいえ6位という結果は腑に落ちない。ホテルを予約しようと「じゃらん」とYahoo検索してもなぜか1番上ではなく、3番目にしか表示されない（図表5）<sup>36</sup>。これはなぜだろうか。

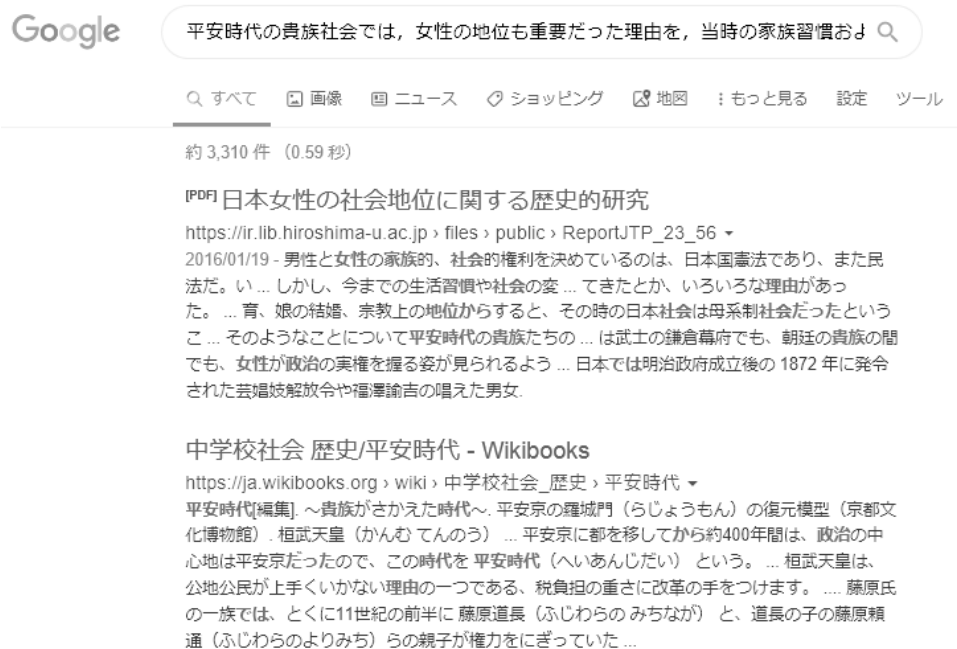


図表5 「じゃらん」と検索したときの表示順【Yahoo検索】



(出典) 論文筆者作成。2019年11月23日検索。

図表6 「平安時代の貴族社会では、女性の地位も重要だった理由を、当時の家族習慣および政治の構造から述べよ」で検索した場合のスクリーンショットの一部【Google検索】



(出典) 論文筆者作成。2019年11月17日検索。

図表7 「平安時代の貴族社会では、女性の地位も重要だった理由を、当時の家族習慣および政治の構造から述べよ」で検索した場合のスクリーンショットの一部【Yahoo検索】



図表6ならびに図表7は「平安時代の貴族社会では、女性の地位も重要だった理由を、当時の家族習慣および政治の構造から述べよ」という長い1語で検索した結果のスクリーンショットの一部である。途中が省略され、一部しか見ることはできないが太字の箇所が検索の結果ヒットした箇所だと推察される。

Google検索においてヒットしたワードは、最初のウェブサイトが順に「女性」「家族」「社会」「習慣」「理由」「地位から」「平安時代」「貴族」「政治」であり、もうひとつのウェブサイトが「平安時代」「貴族」「時代」「から」「政治」「理由」「では」である。一方でYahoo検索においてヒットしたワードは、最初のウェブサイトが順に「女性」「家族」「社会」「習慣」「理由」「地位から」「貴族」「政治」「では」であり、もうひとつのウェブサイトが

「平安時代」「貴族」「時代」「から」「政治」「だった」「理由」「では」である（重複を除く）。Yahoo検索のほうが多くヒットしているが大差はない。両者ともに「から」「では」「だった」などの検索ワードとして不適切なものが含まれている。これが現在のAIがもつ自動的な検索ワード作成機能の実力ともいえる。正しい結果を求めたい場合はAI任せにせずに自分で検索ワードを適切に設定する必要がある。

#### 4. 表示順の恣意的な入替え問題について

##### 4-1. グルメサイト比較

外食する際に「ぐるなび」「食べログ」「ホットペッパーグルメ」「Retty」などで検索してから食事をする人も多いだろう。そこで、4つのグルメサイトを簡単に比較してみる（図表8）。

図表8 4つのグルメサイトの比較表

サイト	登録店舗数	利用者数	クーポン	費用
ぐるなび	約16万件 ※有料店舗約6万店	利用者数：6,500人／月 会員数：1,500万人	あり	プラン3種類 無料～
食べログ	約87万件 ※有料店舗約2.6万店	利用者数1億4千万人／月 有料会員：160万人	あり	プラン4種類 10,000円～100,000円
ホットペッパー グルメ	約9万件	ネット予約数：7,170万人／年 (利用者はより多いと予想)	あり	プラン5種類 要問合せ
Retty	約80万件	月間3,000万人／月	あり	プラン3種類 16,000円～

(出典) 店舗経営レシピブックウェブサイト「[2019年最新版] 飲食店が登録するおすすめのグルメサイトは？ぐるなび、食べログ、ホットペッパーグルメ、Rettyを比較」<https://recipe-book.ubiregi.com/articles/gourmet-site-hikaku/>、[2019年11月24日閲覧]。

#### 4-2. 食べログ問題2012

どこのグルメサイトも一般の店の利用者から利用料金を徴収することなく、飲食店のみから利用料金を徴収するという業務形態である。グルメサイトは基本的には、店の利用者からの5点満点のポイント（評点）と口コミ投稿を掲載することで、利用者のニーズにあった店舗を容易に検索できるようにして始まった。利用者からの評点と口コミで表示順が決まるという単純なシステムは非常に理解しやすい反面、不正を招きやすいという一面ももっている。その問題点が顕在化したのが、2012年、業者から勧誘を受けた店が業者に依頼して不正に好意的な書き込みをしてもらっていたといういわゆる「食べログ問題」である。

消費者庁は、情報操作を働きかけたとされる「口コミ代行業者」2社に聞き取り調査を実施し、さらには書き込み依頼の可能性のある飲食店を経営する14事業者を調べた結果、4事業者が書き込み依頼を認めた。この口コミ操作にたいして、消費者庁が、口コミ情報を掲載するサイトに関しては2011年10月、実際よりも「著しく優良」と誤解される書き込みは景品表示法（以下、景表法）で問題になると注意を呼びかけた<sup>37</sup>。

景表法上では、行政処分の対象は、不正な投稿をした業者ではなく、書き込みを依頼し「商品の役務を提供する事業者側である<sup>38</sup>」とされる。しかし2012年に消費者庁は、本件について景表法違反での処分を検討したが困難であるとの見解を示した<sup>39</sup>。

#### 4-3. 食べログ問題2016

この事件以来、口コミ操作は沈静化していたが、2016年に食べログは自社の提供する予約サービスを利用しないと、サイトでの表示順が落ちる

と店舗に到達し、利用しなかった店舗は実際に評価を一律に3.0に下げたのではないかという疑惑をもたれている。運営会社であるカカクコムによると、点数は投稿者の「食通度合い」で影響度を変えるなど独自の方法で算出し、全店を対象に算出方法を見直しているため、予約サービス利用の有無には関係ないとした。しかし「食通度合い」の判断基準など詳しい算出方法は、飲食店がサクラを雇って点数を引き上げるといった「やらせ」（2012年食べログ問題）を防ぐため、非公開になっている<sup>40</sup>。

騒動について、カカクコム側は取材に「説明に足りない部分があったことが一因」とし、点数の考え方・見方などについて「近日中にこれまで以上にわかりやすく説明する予定」と解答し、現在、評価点数を算出するアルゴリズム（計算手順）の見直しをおこない、つぎのような4つの方針を表明し、点数の見方（図表9）について詳細に説明している<sup>41</sup>。

1) ユーザー影響度を加味している。

食べログの点数は単純平均ではなく、食べログで多くの投稿をしているなど経験豊富な方の影響を大きくするという考え方のもと設計。

2) 評価が集まらなると点数が上がらない

影響度を持つユーザーからのより多くの高い評価が集まることで点数が上がる仕組み。

3) 不正対策

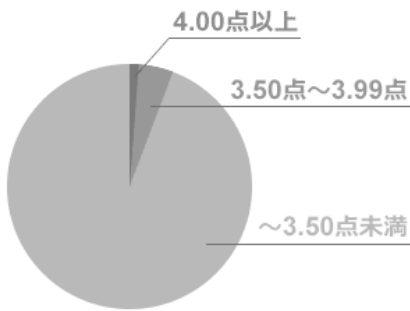
上記1と2を中心とする点数の算出方法は非公開とし、常に見直しをおこなう。

4) 点数更新

点数は毎月第1火曜日と第3火曜日の原則月2回更新をおこなう。

図表9 食ベログにおける点数の見方について

## お店の点数分布



概ね ★4.00点以上 (全体のTOP500前後)

食べ歩き経験の豊富な食ベログユーザーの多くが  
高い評価をつけたお店。満足できる確率のとても高いお店。

概ね ★3.50点以上、4.00点未満 (全体のTOP約3%)

多くの食ベログユーザーに人気のお店。満足できる確率の高いお店。

概ね ★3.50点未満 (全体の約97%)

食ベログユーザーの十分な評価がまだ集まっていないお店や評価が割れているお店。  
一隠れた名店も多数存在し、将来3.5以上になる可能性があります

(出典) 食ベログウェブサイト「点数の見方」、<https://tabelog.com/help/score/>、[2019年11月24日閲覧]。

#### 4-4. 食ベログ問題2019

お店を点数化することはわかりやすい反面、誤解や不正を生みやすい<sup>42</sup>。そこでぐるなびは、約6万店が加盟料(月額1万円～数十万円)を支払って、サイト内に各店の「公式サイト」を掲載している。プランの料金が高いと、トップページの「歓送迎会に行きたいお店特集」などの特集に多く出ることができるという仕組みに変更した。口コミもやらせやライバル店の悪口を書き込む可能性から別ページに少ししか掲載しておらず、利用者からの評点は完全に排除している<sup>43</sup>。要するにプラン料金を多く支払ってくれた店舗の露出が増えるという単純な方針になっている。お店の利用者や善良な店舗経営者からすれば納得できないことであろうが、業務形態からすればある程度は致し方ないことである。どのようにして作成されているのかを、きちんと理解してから利用すべきであろう。

グルメサイトの評点や検索結果の表示順などをめぐってサイト側が不当な要求をしていないか、公正取引委員会が独占禁止法違反の疑いで「食ベログ」「ぐるなび」「ホットペッパーグルメ」などに2019年に実態調査を実施するなど、いまだにその根は深い<sup>44</sup>。

## 5. 結論

調べ学習をするときには、①問題文の理解、②キーワードの抽出(要約含む)、③ウェブサイトの速読および理解、④ウェブサイトの選択、⑤ウェブサイトの要約、といった活動をする必要がある。これらの活動のどれかがうまくできない場合は良い結果を得ることができない。調べ学習の

ための準備学習も必要であろう。

一方で、Web検索の癖にもまた慣れる必要があらう。「元始女性は太陽であった」という文章を探そうと思っても思い出せず、間違えて「古来」「女性」「太陽」を検索ワードとして、コンピュータの一般的な検索機能である「完全一致」で検索した場合、検索結果は「該当なし」、もしくは自分の欲していない誤った情報を得ることになるだろう。プログラマがそのような試行錯誤をした結果、あいまい検索のほうが最大多数の最大幸福につながると考えたと推論づける。

しかし、あいまい検索であるということを知らないと誤った結果にたどりつくかもしれない。例えば先ほどの「元始女性は太陽であった」という言葉も、「青鞥」発刊の辞の題名であり、冒頭の句は「元始、女性は実に太陽であった。(以下略)<sup>45</sup>」である。もし、冒頭の句を得たいのであれば丹念にウェブサイト内の文章を読む必要や、検索した結果列挙されている他のウェブサイトを確認する必要もあらう。そうすれば「精霊流し」を検索するつもりで「灯籠流し」の検索結果が出た場合に違和感なく受け止めるという愚を犯すことはなくなるだろう。

YouTubeなどで動画を見ることに慣れている学生は、自分ひとりで読むことに慣れていないのかもしれない。説明書や教科書を読むことが不慣れである。教科書を読めないもしくは読むことに不慣れた学生は、実際に横について教科書を読ませると「なんだ簡単じゃないですか」といったりする。最初からできるはずがないとの思い込みが強いせいだと推察される。

また2019年3月にやけどの3歳女兒を放置して

パチンコをしていた母親の事件があったが、そのときの母親の供述が「やけどをしたらラップを巻けばいいとネットで調べた<sup>46</sup>」というものだった。大やけどをした娘を病院に連れていかず、Web検索によってえた知識のみで手当てしていたのである。そんなことがあるはずがないとその時は思ったが、今回の調査で知恵袋やブログの内容を解答の手掛かりにし、簡単に結果を得ようとした人はその予備軍といえるのかもしれない。Web調べ学習は簡単なようで意外に難しい。Web調べ学習も安易におこなうのではなく、きちんと準備や理解をしたうえで実践すべきである。どのような学習行動を取ればWeb調べ学習能力を涵養できるかを今後の検討課題とする。

## 付記

本研究は長崎ウエスレヤン大学地域総合研究所(採択研究2019B1)の助成を受けて実施した調査研究の成果の一部である。

<sup>1</sup> 初等中等教育局教育課程課教育課程企画室『学習指導要領の見直しに当たっての検討課題』中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会第31回配布資料、[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo3/004/siryu/attach/1396338.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/004/siryu/attach/1396338.htm), [2019年11月24日閲覧]。

<sup>2</sup> RSTとは「教科書や新聞、マニュアルや契約書などのドキュメントの意味およびその意図を、どれほど迅速かつ正確に読み取ることができるかの能力を測定するため」のテストである。

新井紀子『リーディングスキルテストとは』大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所 社会共有知研究センター、2016年7月26日。

<sup>3</sup> ワトソン(Watson)は、IBMが開発した質問応答システム・意思決定支援システムである。「人工知能」と紹介されることもあるが、IBMはワトソンを「Augmented Intelligence、拡張知能」、自然言語を理解・学習し人間の意思決定を支援する『コグニティブ・コンピューティング・システム(Cognitive Computing System)』と定義している。ただし、IBMは「Augmented Intelligence」とは特に断りなくWatsonのことを「AI」と紹介している。

ウィキペディアウェブサイト「ワトソン(コンピュータ)」、

[https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%AF%E3%83%88%E3%82%BD%E3%83%B3\\_\(%E3%82%B3%E3%83%B3%E3%83%94%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%82%BF\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%AF%E3%83%88%E3%82%BD%E3%83%B3_(%E3%82%B3%E3%83%B3%E3%83%94%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%82%BF))、[2019年11月24日閲覧]。

<sup>4</sup> 新井紀子、早野龍五、糸井重里「『ヘンタイよいこ』新井紀子は明日への希望を忘れない(座談会)」『ほぼ日刊イトイ新聞』、

[https://www.1101.com/torobo\\_talk\\_aria/2018-05-18.html](https://www.1101.com/torobo_talk_aria/2018-05-18.html)、2018年5月18日 [2019年11月24日閲覧]。

<sup>5</sup> シャジニナ・ハンナ「日本女性の社会地位に関する歴史的研究」『広島大学 日本語・日本文化研修プログラム研修レポート集』

([https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/files/public/3/38811/20160119101816722020/ReportJTP\\_23\\_56.pdf](https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/files/public/3/38811/20160119101816722020/ReportJTP_23_56.pdf))、2016年1月、56頁-71頁。

<sup>6</sup> 服藤早苗「権力を発揮していた平安の女性たち——性差を超えた、歴史の見方とは——」『at homeこだわりアカデミー』、

[https://www.athome-academy.jp/archive/history/0000001033\\_all.html](https://www.athome-academy.jp/archive/history/0000001033_all.html)、2009年4月、[2019年11月24日閲覧]。

<sup>7</sup> 歴ペディアウェブサイト「平安時代の女性は、どんな生活を送っていたの?!」、

<https://rekisi-omosiroi.com/heianjidai-zyosei/>、2018年6月15日 [2019年11月24日閲覧]。

<sup>8</sup> 平安時代Campusウェブサイト「平安時代の貴族たちはどのような暮らしをしていたのか?」、

<http://heianjidai.com/kizoku.html>、[2019年11月24日閲覧]。

<sup>9</sup> BUSHOOO! JAPANウェブサイト「平安時代の女官って? 尚侍・典侍・掌侍や女孺・女蔵人などを解説」、

<https://bushoojapan.com/jphistory/kodai/2019/05/02/110209>、2019年5月2日、[2019年11月24日閲覧]。

<sup>10</sup> 終活ねっとウェブサイト「平安時代の女性はどんな生活をしていた? お風呂には入らない?!」、<https://syukatsulabo.jp/article/3662>、2018年5月26日 [2019年11月24日閲覧]。

<sup>11</sup> morikadoネットウェブサイト「～古代の女性史(2)～——平安時代の女性たち——」『向井啓二の日本史』、

<http://morikado.net/culture-nihonshi/culture-nihonshi010.html>、[2019年11月24日閲覧]。

<sup>12</sup> Exciteニュースウェブサイト、「日本では女性の地位が低いって? 『レディースデー』や『女性専用車両』があるのに…=中国」、

[https://www.excite.co.jp/news/article/Searchina\\_20170314028/](https://www.excite.co.jp/news/article/Searchina_20170314028/)、2017年3月14日、[2019年11月24日閲覧]。

<sup>13</sup> honciergeウェブサイト「5分でわかる平安時代！政治や文化の特徴は？主な人物もわかりやすく解説！」、

[https://honcierge.jp/articles/shelf\\_story/5737/](https://honcierge.jp/articles/shelf_story/5737/)、2018年3月25日、[2019年11月24日閲覧]。

<sup>14</sup> 学研キッズネットウェブサイト「平安時代の貴族は、どんな暮らしをしていたの」『学研教育情報資料センター』、

<https://kids.gakken.co.jp/box/syakai/06/pdf/B026106010.pdf>、[2019年11月24日閲覧]。

<sup>15</sup> Yahoo! 知恵袋ウェブサイト「平安時代、女性の地位はどのようなものであったのでしょうか？扱いはどうでしょうか？江戸時代とは違いますよね？詳しく教えてください」、

[https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question\\_detail/q1263519252](https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1263519252)、2011年5月31日、[2019年11月24日閲覧]。

<sup>16</sup> Hatena ブログ「女性の地位と結婚の形」『凡人は歴史に学ぶ』、

<https://bonjinrekisi.hatenablog.com/entry/2019/07/12/052534>、2019年7月12日、[2019年11月24日閲覧]。

<sup>17</sup> Biglobe ウェブリブログ、山口藤造「平安時代の女性の地位は低かった」『あなたの希望に光を』、[https://jama103dajo.at.webry.info/201011/article\\_1.html](https://jama103dajo.at.webry.info/201011/article_1.html)、2010年11月8日、[2019年11月24日閲覧]。

<sup>18</sup> Excite ブログ「日本人の家族形態の特徴である『母系家族』の由来と経過」『コンセプト思考術オープンソース』、

<https://conceptos.exblog.jp/26044300/>、[2019年11月24日閲覧]。

<sup>19</sup> Wikipedia ウェブサイト「貴族社会」、

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%B2%B4%E6%97%8F>、[2019年11月24日閲覧]。

<sup>20</sup> Wikipedia ウェブサイト「平安貴族」、

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B9%B3%E5%AE%89%E8%B2%B4%E6%97%8F>、[2019年11月24日閲覧]。

<sup>21</sup> Wikipedia ウェブサイト「平安時代」、

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B9%B3%E5%AE%89%E6%99%82%E4%BB%A3>、[2019年11月24日閲覧]。

<sup>22</sup> ロイターウェブサイト「ギザでピラミッド労働者の墓、『奴隷が建設』の通説覆す発見」、

<https://jp.reuters.com/article/idJPJAPAN-13279920100111>、2010年1月11日、[2019年11月24日閲覧]。

<sup>23</sup> この説明はGoogle検索におけるものであり、Yahoo検索では「戦国武将 徳川家康」のようにスペースを空けてもちいる。

<sup>24</sup> Web検索をするときは、きちんと覚えていない場合も多いので、完全一致にしていると検索結果がゼロになってしまう場合も想定される。そうならないように工夫されていると推察される。

<sup>25</sup> Googleをもちいて「滝川」を検索ワードとした場合、16,600,000件、「滝川」「益」の2つの場合721,000件、「滝川\*益」の場合823,000件となった。一方Yahooをもちいて「滝川」を検索ワードとした場合、19,000,000件、「滝川」「益」の2つの場合721,000件、「滝川\*益」の場合823,000件となった。

検索サイトによって差異はないが、ワイルドカードをもちいても件数が少なくならないことに疑問を抱く結果となった。2019年11月18日論文筆者検索結果による。

<sup>26</sup> 袁 逸欣「日本での男女不平等問題の歴史、現状、そして今後の展望」カーネギーメロン大学 (<https://www.cmu.edu/dietrich/modlang/student-organizations/polyglot/s2018/japanese/stella.pdf>)、2018年 [2019年11月24日閲覧]。

<sup>27</sup> Hatena ブログ「平安時代。日本の女性相続、女流作家、母系相続図」『日本の祖先神・氏神の人神崇拜と普遍宗教の隣人愛信仰による400年宗教戦争。天皇の人道貢献と戦争回避の平和努力』、<https://nisikiyama2-14.hateblo.jp/entry/20180625/1529931092>、2018年6月25日 [2019年11月24日閲覧]。

<sup>28</sup> 京阪電車ウェブサイト「第66回 京の女流文学」『おけいはんネット』、

[https://www.okeihan.net/navi/kyoto\\_tsu/tsu201310.php](https://www.okeihan.net/navi/kyoto_tsu/tsu201310.php)、[2019年11月24日閲覧]。

<sup>29</sup> Wikibooks ウェブサイト「平安時代」『中学校社会歴史』、

[https://ja.wikibooks.org/wiki/%E4%B8%AD%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E7%A4%BE%E4%BC%9A\\_%E6%AD%B4%E5%8F%B2/%E5%B9%B3%E5%AE%89%E6%99%82%E4%BB%A3](https://ja.wikibooks.org/wiki/%E4%B8%AD%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E7%A4%BE%E4%BC%9A_%E6%AD%B4%E5%8F%B2/%E5%B9%B3%E5%AE%89%E6%99%82%E4%BB%A3)、[2019年11月24日閲覧]。

<sup>30</sup> Z会ウェブサイト「平安時代の貴族が日記を書いた理由とは？」、

<https://www.zkai.co.jp/wp-content/uploads/>

sites/14/2019/09/r670i6000000z2mp.pdf、2019年9月 [2019年11月24日閲覧]。

<sup>31</sup> 新井紀子、早野龍五、糸井重里 前掲ウェブサイト [2019年11月24日閲覧]。

<sup>32</sup> 奈良大学ウェブサイト「サブテキスト奈良大学（奈良大学通信教育学部学習指導書、シラバス）」、

[http://www.nara-u.ac.jp/about/overview/disclosure/pdf/subtext\\_flcd\\_2019.pdf](http://www.nara-u.ac.jp/about/overview/disclosure/pdf/subtext_flcd_2019.pdf)、[2019年11月24日閲覧]。

<sup>33</sup> 東京聖徳学園ウェブサイト「東京聖徳学園通信教育学部シラバス」、

[http://www.seitoku.jp/tk/shirabasu/daigaku/bungaku/2013\\_b\\_10.pdf](http://www.seitoku.jp/tk/shirabasu/daigaku/bungaku/2013_b_10.pdf)、[2019年11月24日閲覧]。

<sup>34</sup> 山梨県総合教育センターウェブサイト「国語力」（教育センター実践結果まとめ）、

<http://www.kai.ed.jp/kokugoryoku/H16/H16kokugoryoku.pdf>、[2019年11月24日閲覧]。

<sup>35</sup> 帝国書院ウェブサイト「中学校社会科サポートハンドブック」（商品カタログ）、

[https://teikokushoin.co.jp/textbook/tenji/pdf/social\\_support\\_350.pdf](https://teikokushoin.co.jp/textbook/tenji/pdf/social_support_350.pdf)、[2019年11月24日閲覧]。

<sup>36</sup> Google検索をした結果は正しく1番上に表示されたが、Bing検索した結果は6番目に表示された。検索サイトによってかなりの差異があるようである。2019年11月24日論文筆者検索結果による。

<sup>37</sup> 「ネット口コミ、苦い味『食べログ』で評価操作、39業者特定」『朝日新聞』30頁、2012年1月27日。

<sup>38</sup> 「景品表示法における違反事例集」消費者庁表示対策課、2016年2月、4頁。

<sup>39</sup> 「食べログ評価操作、処分『難しい』消費者庁」『朝日新聞』37頁、2012年3月29日。

<sup>40</sup> 「(ニュースQ3) 食べログ点数にお店不信感 ネットで騒動に」『朝日新聞』37頁、2016年9月21日。

<sup>41</sup> 食べログウェブサイト「点数・ランキングについて」、

<https://tabelog.com/help/score/>、[2019年11月24日閲覧]。

<sup>42</sup> 食べログ公式ウェブサイト「食べログでは飲食店向けに有料の集客サービスを提供していますが、有料集客サービスを利用しているかどうかは点数に影響することは一切ありません」と明記しているにもかかわらず、「評価3.8以上は年会費を払わなければ3.6に下げられる」という、いわ

ゆる「食べログ3.8問題」は風評として根強い。

<sup>43</sup> ホットペッパーグルメやRettyも同様に、利用者からの評点は排除している。またホットペッパーグルメは口コミ欄がなく、Rettyの口コミ欄は店舗紹介とは別ページに存在しているのみである。恣意性があるとの疑惑をもたれることへの懸念からであろう。

HotPepperグルメウェブサイト、

<https://www.hotpepper.jp/>、[2019年11月24日 閲覧]。

Rettyウェブサイト、<https://retty.me/>、[2019年11月24日閲覧]。

<sup>44</sup> 「グルメサイト、公取委調査 評点・表示順など実態問う」『朝日新聞』29頁、2019年10月3日。

<sup>45</sup> 荻部 直「第13回 平塚らいてう『元始、女性は太陽であった』」『日本思想史の名著を読む』Webちくまウェブサイト、

<http://www.webchikuma.jp/articles/-/1055>、[2019年11月24日閲覧]。

<sup>46</sup> FNNPrimeウェブサイト「『今は子供を見ると可愛って思う』3歳児放置の容疑者も…相談相手はネットだけ？ 深夜に書き込む母たちの“孤独”」、

<https://www.fnn.jp/posts/00434190HDK>、2019年3月7日 [2019年11月24日閲覧]。

